

愛と笑顔あふれる愛媛を目指して!

愛媛のえひめ

えがお

復旧・復興 & 命を守る防災を!

9 2018



愛媛県民だより

第265号 2018年9月2日発行(10月号は9/30(日)発行) 編集/愛媛県企画振興部広報広聴課 〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2 TEL:089-912-2241

平成30年7月豪雨災害に係る 義援金の募集

愛媛県、愛媛県共同募金会、日本赤十字社愛媛県支部では、この度の豪雨により被災された方々を支援するための専用口座を設置しました。皆様からの義援金は、市町を通じて被災者への支援に使われます。詳しくは、県HPをご覧ください。

- 愛媛県 口座名「愛媛県豪雨災害義援金」**
(エヒメケンゴウウサイガイエンキン)
- 伊予銀行 愛媛県庁支店 普通預金 1769828
 - 愛媛銀行 県庁支店 普通預金 5369532
 - 愛媛県信用農業協同組合連合会 愛媛県庁支店 普通預金 0003012
 - ゆうちょ銀行 00120-3-634962

緊急募集 県外民間企業等での勤務経験がある 総合土木職・林業職の県職員を募集中

平成30年7月に発生した未曾有の豪雨大災害を受け、県では、大規模災害の復旧事業などに従事した経験を持つなど、即戦力となる技術者を早急に確保するため、県外の民間企業等で培った先進的・専門的なノウハウを備える人材を緊急募集します。

試験区分	採用予定人員	受付期間	試験
総合土木 林業	10人程度 3人程度	9/18(火)17:15まで	第1次試験
			第2次試験

試験科目: エントリーシートによる書類選考(9/28(金)合格発表)
10/6(土)~10/8(月・祝) 松山、東京、大阪の3会場で各1日実施

※受験資格等詳細については、試験案内をご確認ください。
※試験案内は、愛媛県職員採用情報HPからダウンロードできます。
※インターネットで受験申込システムにアクセスして申し込みください。
関係機関: 人事委員会事務局 ☎089-912-2826

「オール愛媛」で 1日も早い復旧・復興へ!

人を守る 生活を守る 産業を守る

平成30年7月豪雨災害は、本県がこれまで経験したことのない甚大な被害をもたらしました。県では、今回の災害を受け、人命救助を最優先に、第一段階の目標として、「水の確保」「住居環境の早期整備」に努めて参りました。今後は、本格的な復旧・復興に向け、各市町や関係機関と連携しながらスピード感を持って取り組んでいきます。

応急・緊急的な復旧の取り組み状況



水 吉田地区浄水施設(宇和島市)
県内では最大12市町63,856人が断水状態に。特に吉田浄水場は壊滅的な被害を受けましたが、関係者等のご協力で新たな浄水施設の整備が急ピッチで進み、8月3日に三間地区全域で、4日から吉田地区で段階的に通水の運びとなりました。



住居 徳森仮設団地(大洲市)
住宅に大きな被害を受けた皆さまが、1日も早く生活再建を図れるよう、応急仮設住宅の建設を進めています。

応急仮設住宅の建設状況 計170戸(8/20時点)

大洲市	徳森仮設団地・大駄場仮設団地	60戸
西予市	野村運動公園仮設団地・明間地区仮設団地	98戸
宇和島市	吉田西小路仮設団地	12戸



道路 宇和野村線(西予市宇和町明間)
全面通行止めとなった宇和野村線は、土砂撤去等を早急に行い7月14日には片側交互通行が可能となりました。土砂崩れ等により、県管理道路は最大で145カ所が通行止めとなりましたが、応急対策により残り20カ所(8/20時点)まで復旧が完了しました。

中長期的な復旧・復興に向けたこれからの取り組み

災害発生後、県では速やかに予算措置を講じ、7月専決補正予算(総額46億円)では、緊急的な被災者の生活支援を中心に、7月補正予算(総額478億円)では、施設や機械の導入補助など農林水産業の営農再開支援、社会基盤の復旧や二次災害防止対策への措置を中心に行いました。8月専決補正予算(総額288億円)では、国の「生活・産業再建支援パッケージ」に即応し、引き続き被災者の生活支援等に取り組むとともに、地域産業の再建等に向けた支援に着手します。特に被害の大きかった南予の柑橘農業の早期復興には、「南予地域柑橘農業復興対策チーム」を中心に取り組みを進めます。商工業についても、大洲市、宇和島市、西予市に「グループ補助金」の申請・受付窓口を設置し、産業復旧を強力に支援します。

8月専決補正予算概要

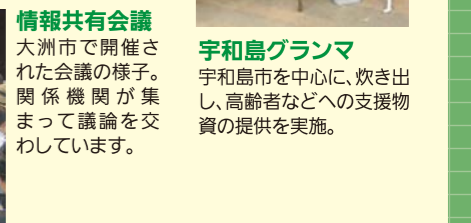
- 被災者の生活等支援 ▶ 18億3,758万円**
 - 日常生活等の支援 仮設住宅の見守り等総合的な支援体制の構築、専門家による心のケア、在宅障がい者・高齢者への個別訪問支援等
 - 児童生徒の就学等支援 学用品費等の補助、被災生徒に対する奨学金の特例制度創設等
 - 社会福祉施設の復旧
- 地域産業の再建等支援 ▶ 263億6,295万円**
 - 商工業の再建 グループ補助金及び無利子貸付制度の創設、風評被害を防止するための観光需要の喚起(周遊旅行支援)等
 - 農林水産業の復旧・復興 国営南予用水施設の復旧、県産家畜の県外出荷経費への緊急支援、木材加工流通施設の復旧等
- 二次災害防止対策及び社会基盤の充実 ▶ 6億9,100万円**
 - 国・県が一体となった鮎川水系治水対策の前倒し実施、鮎川の氾濫を防止する緊急の河床掘削等

ボランティアの活動状況

愛媛県社会福祉協議会では、「愛媛県災害ボランティアセンター」を立ち上げ、被災市町・市町社会福祉協議会等と連携しながらボランティア活動を支援しています。

NPO・NGOのボランティア活動

県内外問わず、多くの団体が被災地で支援活動を行っています。避難所への物資提供のほか、避難生活が続く被災者に対する体や心のケアやボランティアセンターの後方支援など、被災者に寄り添った多岐にわたる支援が行われています。また、被災者支援活動がより効果的に行われるよう、行政・NPO・NGO・社会福祉協議会等の情報を集約・調整し、連携・協働を図るためのネットワークづくりも進めています。



個人ボランティアの活動



暑いなか、多くの方にご協力いただいています。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

- ボランティア参加者数(8/19時点)のべ25,932人
- 主な活動/家屋の泥だし、家具・ゴミ搬出など

県内外の団体と連携し、一緒に汗を流しています。

これからボランティアを考えている方・団体の皆さんへ

被災地の復旧・復興にはこれからも皆さんの支援が必要です。温かいご支援をよろしくお願いいたします。詳しくは県災害ボランティアセンター特設サイトをご覧ください。

愛媛県災害ボランティアセンター

風水害に備えよう!~早めの避難が大事~

平成30年7月豪雨は県内に大きな被害をもたらしました。自分が住んでいる地域に存在する「命を脅かす危険性」は何なのか。地震だけでなく、風水害も事前の備えが必要です。避難すべき施設の位置や避難に際して入手すべき防災情報を確認しましょう。

「命を守る防災情報」をチェック

- ①気象庁が発表する【防災気象情報】**
 - 注意報** 災害が起こるおそれがあるとき
 - 警報** 災害が重大なものになるおそれがあるとき
 - 特別警報** 警報の発表基準をはるかに超え、重大な災害が起こるおそれ大きいとき
- ②気象庁と愛媛県が発表する【土砂災害に関する情報】**
 - 土砂災害警報情報** 大雨警報(土砂災害)などが発生している状況で、土砂災害発生の危険性がさらに高まったとき
- ③市町長が発表する【避難についての情報】**
 - 避難準備・高齢者等避難開始**
 - いつでも避難ができるよう準備を。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
 - 避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児など)とその支援者は避難を開始。
 - 避難勧告**
 - 避難場所へ避難をしましょう。
 - 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。
 - 避難指示(緊急)**
 - まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
 - 外出することでかえって命の危険がおおぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

Point 「自分の命は自分で守る」が鉄則
3つの避難情報は必ずしもこの順番で出されるとは限りません。発令されていなくても、早めに安全な場所へ避難してください。

情報の入手方法

- ~いざというときに備えよう~
- 防災マップで近隣の危険度を確認
 - 台風などの接近前から天気予報などの気象情報を収集
 - 愛媛県公式の情報をチェック
- スマートフォン 避難支援アプリ「ひめシェルター」
SNS Twitter (@EhimeBousai)
web 県災害ポータル(<http://ehime.force.com>)

スマホアプリ「ひめシェルター」で災害に備えましょう

ぜひお手元のスマートフォンやタブレットにご準備ください。
※アプリのダウンロードは無料で行えますが、通信費は利用者のご負担となります。

災害が起こる前 気象や防災の情報を見て備える
避難するとき 地図で避難先を見る、自分の計画を見る
避難した後 自分の安否を登録、家族の安否を見る

ダウンロードはコチラ!